

ENEOS ホールディングス株式会社が発行する 「トランジション・リンク・ボンド」への投資について

記

浜松いわた信用金庫（理事長 高柳 裕久）は、このたび、ENEOS ホールディングス株式会社（以下「同社」）が発行するトランジション・リンク・ボンド（以下「本債券」）に投資したことをお知らせします。

「トランジション・リンク・ボンド」とは、あらかじめ定められた脱炭素社会の実現に向けた目標を達成するかどうかによって条件が変化する債券のことを指します。発行体があらかじめ定めた重要な評価指標とサステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット（以下「SPTs」）によって評価され、発行体に SPTs 達成に向けた動機付けを与える債券です。

本債券の発行条件と連動する SPTs としては、「2030 年度までに ENEOS グループにおける Scope1,2^{注)}のネット CO₂ 排出量を 2013 年度比 46%削減」を設定しています。同社グループでは、長期ビジョンにおけるありたい姿として「低炭素・循環型社会への貢献」を掲げています。本投資を通じて、同社グループの SPTs 達成に向けた取組みを支援することで、カーボンニュートラル実現に向けた活動が推進され、国連の持続可能な開発目標（SDGs）の達成にも貢献するものです。

浜松いわた信用金庫は、今後もさまざまな取組みを通じて、SDGs の達成に貢献できるよう努めてまいります。

<本債券の概要>

発行体	ENEOS ホールディングス株式会社
年限	10年
発行額	850億円
発行日	2022年6月15日

注) Scope1：建設作業所における重機の軽油等の使用により直接排出される GHG 排出量など

Scope2：オフィス等における購入した電気・熱の使用により発電所で間接的に排出される GHG 排出量など

以上